



第15回全国障害者スポーツ大会 和歌山県での開催に向けて

第15回全国障害者スポーツ大会情報 NO.1

発行日：平成22年9月21日



(平成21年 第8回トキメキ新潟大会 和歌山県選手団入場)

平成27年、国民体育大会が和歌山県で開催されること
が、平成22年7月7日に内定され、それに伴い、

**『第15回全国障害者スポーツ大会』が和歌山県で
開催されることとなりました。**

『全国障害者スポーツ大会』は、障害のある選手が、
障害者スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の
障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の推進に寄
与することを目的とし、毎年、国民体育大会が開催され
る都道府県において、同年に開催されています。

選手約3300名、役員約2200名の皆様が、全国
各地より参加されます。

本年は、10月23日(土)～25日(月)の3日間、千
葉県で開催され、和歌山県代表選手として23名が参
加します。

平成22年 ゆめ半島千葉大会

平成23年 おいでませ！山口大会

平成24年 ぎふ清流大会

平成25年 スポーツ祭東京2013

平成26年 (長崎県)

平成27年 (和歌山県)

次号No.2で、参加の様子を報告したいと思います。

障害者スポーツに関する情報は・・・

****第15回全国障害者スポーツ大会**

並びに障害者スポーツに関するHP**

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/pref/g/040400/sports.html>

全国障害者スポーツ大会の概要

〈沿革〉

昭和40年～ 全国身体障害者スポーツ大会

平成4年～ 全国知的障害者スポーツ大会

平成13年～ 身体障害者、知的障害者の大会が合併し、『全
国障害者スポーツ大会』として開催

平成20年～ 精神障害者が参加するバレー競技が正式種
目として追加

〈競技種目〉

個人種目 6競技

陸上、水泳、アーチェリー、卓球、ボウリング
フライングディスク

団体競技 7競技

バスケットボール、車椅子バスケットボール、
ソフトボール、グランドソフトボール、サッカー、
バレーボール、フットベースボール

*障害者スポーツ独自競技については、今後ご紹介していきたいと思
います。

開催に向けた準備状況

平成22年8月31日(火)に『第15回全国障害者ス
ポーツ大会和歌山県準備委員会』を設置し、吉田喜代司
委員長(社福)和歌山県身体障害者連盟会長、和歌山県
障害者スポーツ協会副会長)を中心に、福祉関係団体、
競技団体他の総勢27名の委員により、全国より来県さ
れる選手、役員及び観客の皆様をお迎えし、和歌山に來
て“良かった”と思っていただける大会となるよう諸準
備を開始したばかりです。



『フライングディスク』競技とは..



障害者スポーツ独自の競技で、樹脂製の「ディスク」(円盤)を
10回投げ、円形の標的の内側を通過した枚数を競う「アキュラシ
ー競技」と、ディスクを3回投げ最も遠くへ跳んだ距離を競う「デ
ィスタンス競技」があります。障害の程度にかかわらず、全ての障
害者が、同じ条件で競い合う唯一の競技で、障害のない人も含めた
全ての人が等しく楽しめる競技です。